

1.運営委員就任の経緯

こむ1会が2013年度に小委員会制度を導入した時、私は所属のランチボックスから広報小委員会に参加しました。その後、広報小委員会の前代表が退任時に「広報小委員会から運営委員として出席が必要」との要請があり、2015年度より私が運営委員に立候補し、今日まで6年間務めてさせて頂きました。ボランティア経験も浅く、こむ1会の事も何も分からないまま運営委員を務めさせて頂きましたが、退任にあたり、その間に気付いた私自身のこむ1会に対する想いと反省、今後に向けた提案を、皆様の今後の活動に活かさればと思い纏めましたので、報告させていただきます。

2.こむ1会活動に対する想いと反省

こむ1会は、あくまでもぶらざこむ1を利用するボランティア団体が集まる「利用者会」です。また、こむ1会は、会員団体の担当者と個人会員によって運営されており、専任者はいません。以上のことから、私は「こむ1会員が、財団の掲げる“暮らしやすい街や社会をボランティアの力によってつくる”ための活動に集中」できる様、こむ1会活動は「利用者会」として必要最小限の活動に絞り込み、いたずらに会員団体に対して一律な参加の義務化は避けるべきだと改めて思ってきました。

こむ1会の活動は、運営委員が中心になって企画し、大掃除などの様に会員が等しく分担すべき業務については全会員の参加を求め、その他の活動については、賛同者を募った自主的な活動にするなど柔軟な運用をすべきだと思っています。

これにより、運営委員への負担が増える事が懸念されますが、現状では運営委員への就任は、全会員に対して公平に求められており、2年の任期中はこむ1会会員の責務として甘受すべきだと思っています。

2021年1月の新運営委員会スタート時に導入した班制の運営委員会は、運営委員25名の参加意識が従来に比べ格段と高まり、私が思い描いた「運営委員会を中心としたこむ1会活動」に近づきつつあり、より一層進化させてほしいと願っています。

3.今後のこむ1会への提案

(1)外部団体からの参加要請について

宝塚市内のボランティア団体は、現在400団体以上登録されており、こむ1会はその一部の集まりに過ぎず、決して宝塚市のボランティアを代表する組織ではありません。これまでは、こむ1会があたかも宝塚市のボランティアを代表しているかのような要請が多く、こむ1会もその要請に応えようとしてきた様に思います。

今年度から要請の更新時に見直しが行われていますが、その判断基準を福祉や防災などの社会的に重要なテーマか否かに置かれがちですが、そうではなく、あくまでも単なる「利用者会」が何故その要請に応える必要があるかといった視点で、積極的な見直しを行う必要性を強く感じます。

(2)運営委員会・ワーキングについて

現在、運営委員会の中にいくつかのワーキングが立ち上がり、今後実行チーム等への移管を目指した活動が展開されて行くと思いますが、この取り組み方について特に異論はありません。ただ、「こむ1会には専任者がいない」中で、次々と理想的なテーマや活動を掲げ実行に移すことで、運営委員や一般会員の負担が増える事を危惧します。

良いことだからすぐ実行に移すと決めるのではなく、実施に移す前に広く一般会員にその活動に対するニーズがあるかどうか、その活動に掛ける労力に見合うだけの成果が見込めるかどうかを確認してから実施に移す様お願いします。

(3)実行チームの立ち上げについて

こむ1会員の中には、こむ1会活動に積極的に関わるだけの余力のないグループも多く見受けられますが、こむ1会活動に全く参加しないというのも、こむ1会の入会条件からも容認できません。

今後ワーキングから出た成果を実行チーム等に移行していく事になりますが、以前の小委員会制度の様に、全会員一律にいずれかの実行チームへの参加を求めるのではなく、①「利用者会」として全会員が等しく分担すべき活動と、②「繋がりづくりに類する自主的な活動」とに峻別した運用を望みます。①については、今以上に参加を強制すべきだと思っていますが、②については、全会員を対象とした自由参加にすべきと考えます。

(4)ボランティアによる運営支援

特に専門性と継続性が求められる業務(Zoom、Web、PCの維持管理等)については、運営委員の枠にこだわると量的にも質的にも無理が生じかねないので、こむ1会支援スタッフとして全会員の中から賛同者(ボランティア)を募り、運営して行くのも一つの方策ではないかと思っています。

私自身は、許されるなら引き続き支援スタッフとして協力していきたいと思っています。

以上

意見-2

こむ1会の運営委員退任に際しての所感

2021年9月7日

運営委員という貴重な体験をさせて頂き、それ迄何となく参加させて頂いていたこむ1会の活動内容が漸く理解できました。あまりお役には立てませんでした、小生の反省も込めてこむ1会及び運営委員会について考えてみました。今後の活動のご参考にできれば幸いです。

No	項目	内容	備考
1	総括	コロナ禍の中活動しにくかったと思いますが、新代表のリーダーシップでそれ迄の会の運営方法を大胆に変えたのは評価できます。	基本的には現状の不具合を正しながらも今の方向で進められたら良いのではないのでしょうか？
2	こむ1会とは？	当初からコム1会を理解しないまま参加させて頂いていました。会則改定チームでの話し合いで漸く理解できました。	小生のような会員も多数おられると思いますので、折に触れてPRをよろしく。
3	多様性の追求に関して	コロナ禍の中リモートを取り入れたのは良かったと思います。ただIT弱者をどうするのか？不安でしたが一応会場へ来ていただく方向は良かったのではと思います。それに関連していわゆる障害を持たれているメンバーの方の参画についてです。総会で聾唖協会の方がHP作成に関して、障害を持たれている視点で意見を述べられていました。貴重なご意見だったと思います。今後の社会のあり方を考える上でもこむ1会の運営には多様性を加味することは重要だと思います。	個人的には運営委員のメンバーに一定数のハンディを持たれた方の参加を義務付ける(又は要望として入れる)べきでは無いかと思っています。本件は会則改定チームにも提案したいと思っていますので、その際にご検討いただけたらと思います。勿論障害者の定義や会議の進捗の難しさは想像できますが…。広報のワーキングには是非聾唖協会さん等ハンディのある方の参画をお願いしては如何でしょうか？
4	班別運営に関して	成るべく全員に参画意識を持ってもらう意味でも良かったと思います。	今期も継続されては如何でしょうか？
5	運営委員会の開催日時	リタイヤされている方は問題は少ないでしょうけど、仕事を持たれている方は参加がほとんど不可能な時間でした。	運営委員に選出されても出席が殆ど無いサークルも有ったのではないのでしょうか？多くの方が参加できる「例えば第2土曜日の午後」を基本にするとか？良い方法はないのでしょうか？
No	項目	内容	備考
6	委員会又はワーキングによる活動	従来の委員会は基本的にはまず委員会が決められていて、会員はいずれかの委員会に参画する事。そして各運営委員は分担して各委員会を総括(監督?)する事でした。今のワーキングは課題が解決すれば解散するので従来の委員会とは異なると思っています。会則改定が良い例でしょう。しかもリーダーは原さんですが今期は運営委員でもありません。しかし一方では防災は「委員会」にしたいとのことでしたが、これはこの体制で永続して活動したいということなのでしょう。「大掃除」もこの体制で毎年実行したいとの意向かもしれません。	定義を明確にして、「委員会」は継続性のあるものとして、ワーキングは課題解決型で、今の課題が解決したら解散する組織にしては如何でしょうか？「大掃除」も「2021年度大掃除実行」に定義すればワーキングでしょう。。広報も課題別のワーキングに分解しては如何ですか？「広報委員会」はそれを総括する活動になるのでしょうか？いずれにしても委員会とワーキングのこの辺の解釈は、新運営委員会で明確に定義していただけたら良いのかとも思います。最後は会則改定版の細則で明文化することを意識していただけたら良いのかとも思います。

以上

意見-3

今回の新旧運営委員入れ替わりにおける問題点、反省点

- ① 9月10日より新運営委員が始動すべきだったのに、旧運営委員会との引き継ぎができていない＝総会までが旧運営委員会、9月運営委員会の為の連絡会議は旧運営委員会の班長がレジメ制作、9月10日旧運営委員会の班長主導で行われる、役員は旧役員のまま任期が切れていても継続
- ② 総会において活動計画案は旧運営委員会が制作したものであり、新運営委員会は一切関わっていない（活動計画案は新運営委員が制作すべきもの）
- ③ 総会で承認すべき役員が決められていない
（役員は必ず選出されているのに、選出される時期が遅い）

①～③を解消するには新運営委員選出のスケジュールを早い時期に行い、総会に向けての準備8月10日運営委員会には新運営委員も出席、活動計画案について一緒に作成し、新役員も決定する。

（資料：年間スケジュール表案）

- ④ 倉庫ロッカー世話人会の引き継ぎがスムーズにできなかった＝旧世話人の任期が8月1日～7月31日とならなかった。

④を解消するには、8月1日～新しく倉庫ロッカーが使用できるように手続きを早めに行う。（資料：年間スケジュール表案）

参考資料(意見-3)

年間カレンダー案

★総会(下旬)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	～	2月	～	5月
現行 運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会資料の作成 ・選管立ち上げ ・立候補受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠員分抽選 ・新運営委員に連絡 ◇運営委員会開催日 ◇総会資料の配信 	<ul style="list-style-type: none"> 現運営委員会通常会議 新旧運営委員会合同会議 ・総会資料(活動案) 							
新 運営委員会			<ul style="list-style-type: none"> 新旧運営委員会合同会議 ・総会資料(活動案) 新運営委員会役員決め 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチーム(企画)立ち上げ ・実行チームの立ち上げ→実施 ・広報・交流・防災・維持活用etc. (運営委員を中心に、必要なら登録グループ 会員にも参加を呼び掛ける) 						
倉庫 ロッカー	<ul style="list-style-type: none"> 現状確認点検 全体会(6月中旬) (利用の手引き確認、新世話役決定) 利用申請(6月下旬) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用振り分け(7月初旬) 申請者に振り分け完了連絡 ・荷物の移動 搬出7/31 搬入8/1 新旧世話人引継ぎ(7月下旬) 	<ul style="list-style-type: none"> 新世話人→ 新利用に伴う荷物等の引っ越し完了 ・料金支払い ・新利用申請の現状確認・点検 							<ul style="list-style-type: none"> ・利用の点検確認